

自動連結器



(あまり見ないと思うので、連結器を下から見てみました。(^-^:))

①自動連結器・・・(座付自動連結器 2 種、柴田式)

柴田式自動連結器というのは、国鉄の車両に主に使われてきた種類の連結器です。座付自動連結器 2 種というのは、座と、連結器胴の間にコイルばねが入っていて、連結時のショックを和らげるようになっています。ただ、この連結器では衝撃の緩和が不十分で、あまり車両を連結する事のない、テンダー機関車の先頭に主に使われています。

(ちなみに炭水車には、さらに改良された、衝撃吸収ばかりでなく、曲線での横曲がり・戻りにも対応した、継手付自動連結器が使われています。) (⇒p51「継手付自動連結器」)

解放	解放テコを少し引くと、鎖→錠揚げ→錠が引き上げられ(錠控え)、ナックルの動きが自由になります。そのまま車両同士を引き離すと、ナックルが開き車両同士が解放されます。
連結	車両を連結していない状態で、解放テコを錠控え位置よりさらに上に引き上げると、錠が外れ、ナックルが開きます。連結をする時は、開いた連結器同士がぶつかりとナックルの中央部が押されてナックルが閉じ、錠(錠揚げ)が落ち、ロックされます(錠掛り)。

- ※自動連結器の3作用
- ・錠掛り位置
 - ・錠控え位置
 - ・ナックル開き(錠揚げ)

もし、この PDF の内容が良かった、と思われた方は、
ぜひ、『D51688 号パーフェクトブック』をお買い上げください。
1 冊 2000 円(フルカラー54 ページ)です。

ちょっとお高いですが、全てフルカラーの写真を入れたら、こうなってしまう
した。

なお、パーフェクトブックの売上金は、D51688 号保存協力会の、研修費用等に
充てられます。

パーフェクトブックが現在販売されている場所は、
岡崎市南公園 交通広場、管理棟の 1 階窓口(木曜日は休園日)です。
または、月 1 回の管理清掃が行われているときに、清掃を行っている、保存協力
会員にお問い合わせをしていただいても結構です。

D51688 号機は、現在、愛知県岡崎市にある、岡崎市南公園 交通広場で、
静態展示が行われています。

もちろん、(休園日でも)柵の外からは、いつでも見ることは出来ますが、
月 1 度、第 2 日曜日の 9:00~11:00 の間に、管理清掃のために、柵が開けられま
すので、より近くで見ることが出来ますし、運転席内に入ることも出来ます。

南公園に来られた際のお土産としても「D51688 号パーフェクトブック」を、
ぜひ、どうぞ♪

※ぜひ、D51688 号に会いに来ていただきたいのですが、どうしても無理で、
パーフェクトブックを買っても良いよ、という方は、以下のメールでも受け付
けています(別途、送料・手数料がかかる場合があります)。

販売代行窓口：d51688-pb@azutelier.jp

このファイルを改変すること(特にこのページを切り離すこと)を禁じます。

©加藤あずき / D51688 号蒸気機関車保存協力会